

R4これまでの活動 あ・えーるテラス ～障害者等の社会参加(企画展示・交流会・ワークショップ)～

実施のきっかけ

障害者等の社会参加のきっかけづくりとして当事者の作品を展示していたところ、作品の搬出入の際に展示者同士がつながった。同時にあ・えーるテラスで交流するようになり、地域の支援機関からひきこもりがちの男性が来所。会話の中から得意のけん玉のパフォーマンスをその場で披露した。



活動の結果

けん玉のパフォーマンスに展示者が感動。多くの人に観てもらいたいと、メンバーで『海玉ん』というキャラクターを考え、その衣装・チラシ等の制作チームができ、パフォーマンスの発表の場として、ラコルタ柏フェスティバルに参加することとなり、『海玉んプロジェクト』が発足。フェスティバルに向けて準備を進めた。

活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

添付の衣装とチラシを当事者(プロジェクトチームメンバー)がつくり、ラコルタ柏フェスティバルで本人(海玉ん)がパフォーマンスを披露した。本人はこの場でパフォーマンスが出来たのはプロジェクトチームのメンバーのおかげと涙がこぼれ、会場の来館者ももらい泣きした。本人も皆さんの反応を見て自信になったようで、意欲的にイベントにも参加するようになった。

社会参加には人と人との出会いやつながり、また活躍する場が必要だと改めて気づかされた。

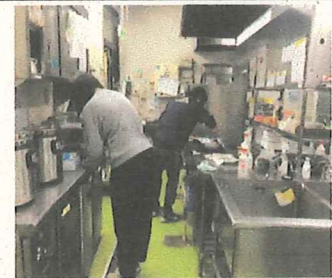
R4これまでの活動 ～あ・えーるワークス～

概要

障害等により働く事への不安や問題を抱える方を対象として、社会参加や就労に関する相談・支援および助言、職業能力評価等の検査、各種講座、情報提供等を実施。被支援対象者が自立した日常生活又は社会生活を営むための支援を提供している。



「福祉事業所説明会」



「職業体験」

活動の結果

令和5年1月20日時点で就労決定者6名。就労およびコミュニケーション、生活習慣の改善等の講座を約161回実施し、延べ325名が参加。PC訓練や作業訓練を行う職業準備訓練を97回実施し、延べ約278名参加。また、市内の就労移行支援事業所や就労継続A型・B型等、各福祉事業所から利用者にサービス説明を行う合同福祉事業所説明会を企画・立案。2回開催。福祉事業所への利用決定者が4名決定。障害者手帳取得の支援を行い3名が交付(取得)。新たに職業体験を企画・立案。リサイクルショップや介護事業所等の職業体験を5回開催。その他、アウトリーチや各種検査等を実施。

活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

- ▶利用当初はひきこもり生活の影響で昼夜逆転の生活をしてきた利用者が、講座等への定期的な通所を行うことで生活リズムが整い、結果として就労に結びついた。
- ▶自己肯定感が低下し、就労に関して消極的だった利用者が、動画と連動して学べるPCスキルトレーニングに継続参加し、自己の強みを見つけ、「将来的にデスクワークの仕事に就きたい」という目標を抱く契機となった。
- ▶関係機関と連携したケースも約55件で、担当者どうしの顔の見える関係が適切なケースワークに繋がっている。関係機関各位に感謝の意を申し上げます。

R4これまでの活動 ～あいネット就労支援準備室～

実施のきっかけ

あいネットでは、柏市から委託を受け、福祉に関するご相談をお受けしている。あいネット就労準備支援室では、仕事やコミュニケーション、生活リズム等に不安のある方のご相談、講座や内職、就労に向けた見学・体験等のプログラムを実施。地域や関係機関とも連携し活動を広げている。

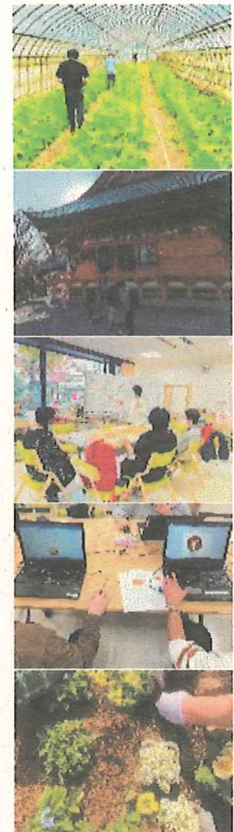
また、広報誌[スクラム]にて、毎月のスケジュールや活動報告などを周知している。

活動の結果

- ラコルタ柏内での連携
 - ・あ・えーるテラススペースを使用した講座開催
 - ・ページブルとコラボレーション企画
 - ・柏市社会福祉協議会の福祉用具清掃
 - ・ラコルタ柏フェスティバルに講座の成果物を出展
- 地域の機関や企業との連携
 - ・フードドライブ回収・仕分け
 - ・ヤマザキショップでの就労体験
 - ・農業やペットショップでの就労体験
 - ・寺社仏閣やアパート、公園の清掃・美化活動
- 講座のバリエーション拡大
 - ・アンケートや相談の過程で直接相談者の声を聴く
 - ・相談員の経験（英語、メンタルヘルス、音楽等）を活かす

活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

- 定期的な来所によって生活リズムが改善された相談者が多くいた。
- 活動場所やバリエーションを広げたことにより、講座等就労プログラムへの参加意欲が増大し、これまで講座に消極的であった相談者の参加が増えた。また、就労プログラムへの参加増加により、コミュニケーションや社会参加の機会も増えた。
- あいネットの相談員のみでなく他の相談者や外部の協力者と対面することにより、相談者本人の気付きが増え、就労への関心や意欲が高まった。



9

R4これまでの活動 ～ Sandwich Café PAISIBLE ～

実施のきっかけ

障害者の就労体験や障害理解の推進、交流を図る場として福祉喫茶の運営をしている。

活動の結果

地域イベントに参加するなど地域に根付いた活動を行い、認知度や来客数を増やす。



活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

- ・就労訓練を通じて働くことへの意欲や関心、協調性などを養うことができている。
- ・ラコルタフェスティバルへの参加や市内の就労継続支援事業所とコラボ商品を作るなど地域に密接した活動を行い、地域貢献にも努めている。
- ・イベント企画や商品開発に努めることでページブルの認知度が高まっている。また、そのような活動を続けることが障害者の就労の活動を広げていくことにもつながっている。

10

R4これまでの活動 場の活用① ～多世代交流スペース(参加者から企画の実施者へ)～

実施のきっかけ

2階多世代交流スペースでのイベント等に参加後、定期的に施設を利用されるようになり、職員とのコミュニケーションの中で、趣味や特技、今している活動について知り合う。



活動の結果

社協の連携事業として、イベント・講座等を企画し講師として活躍



活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

- ①親子スペース利用からリトミック講師へ
講座を開催後、ラコルタ柏やその他公共施設でのサークル活動につながった。
- ②障がい理解イベント参加者が、「障害のある子もない子と一緒に音楽を楽しもう」イベントを開催
- ③子育て中の母親向けイベント参加者からマザーズコーチング講師へ
- ④ラコルタガーデン活動者から、多肉植物講座の連携事業の提案(3月開催予定)

11

R4これまでの活動 場の活用② ～ラコルタ百人パフォーマンス劇場『子ども音楽ワークショップ』～

実施のきっかけ

3Fのオープンスペースに人の流れを創るきっかけづくりとして、今年度は試験的に開催した。館における『多世代の集いの場づくりや繋がりづくり』の活性化の一助となればと考えている。



活動の結果

参加者：38名
出演者：柏ジュニアストリングオーケストラ



活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

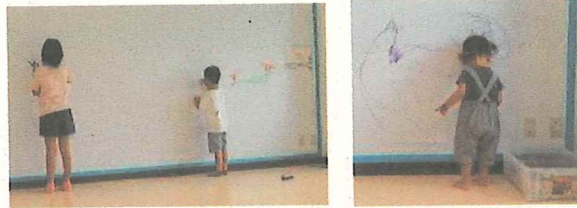
- ・3階オープンスペースでの演奏会という、初めての企画内容であったが、開始間もなく定員に達した。
- ・柏市内で活動をしている団体や個人の様々なパフォーマンスを発表する舞台として、オープンスペースを活用することにもつながり、来場者は、会場の外からも一緒に楽しむことができた。

12

R4これまでの活動 場の活用③ ～交流室開放「おえかきの日」～

実施のきっかけ

4階交流室のホワイトボードクロスの利用が少ないことと、親子での利用のきっかけづくりとなる講座を始めたかったため。



活動の結果

8月25日から1月15日までの11回で、延べ65名の親子にご参加いただきました。



活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

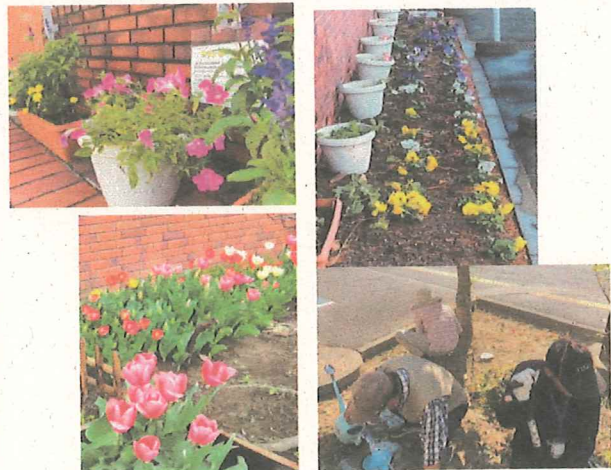
アンケートでは、「大きなホワイトボードにお絵かきとっても楽しかったです!」、
「おり紙のおみやげも、ありがとうございました☆」と記載があり、参加者はおえかきや折り紙を楽しんでいます。また、お子さん同士が遊びだすことで、保護者間での会話も生まれてました。ただし、リピーターがいないため、次回も参加したくなるような仕掛けや周知方法が課題です。

13

R4これまでの活動 ※場の活用④ ～ラコルタガーデン～

実施のきっかけ

令和3年度生涯学習いきいきセミナー後期「和と洋の寄せ植え講座」、令和4年4月～7月「自主活動講座」の受講生を中心に8月「ラコルタ・ガーデンの会」を結成。ラコルタ柏周辺の環境整備と憩いの場をめざして活動開始。



活動の結果

月1回の活動で3階入り口へのプランターの設置、1階玄関前と福祉駐車場付近に花壇を作成。来館の方々に花と緑のある憩いの空間を提供している。参加者15名。

活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

講座受講生の他、社協より花ボランティアの方を紹介頂いたり、市民団体（一球会）が、花の提供・プランターの木枠作りや花壇活動にも参加してくれるなど、活動の輪が広がってきた。暑い夏や重労働かと思う時も、花の世話や土に触れる機会を純粋に楽しんだり、散歩ついでに様子をみたり水やりをしてくださる参加者の様子に感動することも度々。夏の水やりには、より協力者を募りたい。ラコルタ全体の環境整備と連携して、館を利用する方のくつろぎの場、子どもたちの情操教育の場、また、生涯学習やボランティアの活動へ一歩を踏み出す場として、より活性化を目指す。館と会との連絡・調整が今後の課題。活動日の天候に一喜一憂しています。

1

R4これまでの活動 ～情報発信～

実施のきっかけ

ラコルタ柏の周知を広げ、より多くの方の来館や企画への参加を促すため、広報手段について検討し、さまざまな取り組みを行った。



活動の魅力を伝えるSNS講座



情報コーナー(3階)

活動の結果

公式LINEとInstagram開設。パンフレットを作成。3階に全館のチラシを集約した「情報コーナー」を新設。

活動の成果(参加者の反応・やって見えたこと・わかったこと)

- ・ Twitter457、Facebook192、LINE413、Instagram93 ※各フォロワー数
- ・ 活動団体向け「活動の魅力を伝えるSNS講座」を実施(9/12・9/26参加者14名)。ラコルタ柏フェスティバルや、わくわく人形劇まつりに向けてのPRをねらいとし、団体関係者から「アカウントを開設して発信チームを作りました」との感想が寄せられた。団体からの発信も、ラコルタ柏の周知につながっている。
- ・ SNSに関しては、ツール毎の特性を活かした効果的な発信について検討する必要がある。パンフレットをはじめとした紙媒体については、配布先などを拡充することも要検討である。
- ・ 今年度は、かしわインフォメーションセンターHPや柏市民新聞に取材記事が掲載されたが、引き続き外部メディアとの連携やプレスリリースにも取り組む必要がある。